



平成19年3月期 第1四半期財務・業績の概況(連結)

平成18年7月28日

(平成18年4月1日～平成18年6月30日)

上場会社名 東海旅客鉄道株式会社

(コード番号: 9022 東証、大証、名証各第1部)

(URL http://www.jr-central.co.jp)

代表者 役職名 代表取締役社長 氏名 松本 正之

問合せ先責任者 役職名 取締役広報部長 氏名 宮澤 勝己

TEL (052) 564-2549

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 無

最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 無

2. 平成19年3月期第1四半期財務・業績の概況(平成18年4月1日～平成18年6月30日)

(1) 経営成績(連結)の進捗状況

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しています。

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19年3月期第1四半期	361,800	0.4	123,221	2.6	85,874	7.9	50,411	7.7
18年3月期第1四半期	363,079	5.0	120,141	25.5	79,574	58.3	46,792	7.0
(参考) 18年3月期	1,467,650		403,754		213,462		122,437	

	1株当たり四半期(当期)純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益
	円 銭	円 銭
19年3月期第1四半期	25,257.92	
18年3月期第1四半期	20,907.64	
(参考) 18年3月期	54,560.69	

(注) 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しています。

(2) 財政状態(連結)の変動状況

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
19年3月期第1四半期	5,156,210	718,747	13.7	357,431.34
18年3月期第1四半期	5,343,029	890,153	16.7	397,735.67
(参考) 18年3月期	5,309,848	973,669	18.3	434,917.59

【連結キャッシュ・フローの状況】

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
19年3月期第1四半期	86,251	43,102	142,565	73,307
18年3月期第1四半期	106,221	34,382	7,325	157,650
(参考) 18年3月期	477,901	119,641	264,023	172,723

[参考]

平成19年3月期の連結業績予想(平成18年4月1日～平成19年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
中間期	712,000	135,000	80,000
通期	1,443,000	199,000	116,000

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 58,706円80銭

(注) 実際の業績は今後の経済情勢等によって業績予想と異なる場合があります。なお、上記(平成19年3月期の連結業績予想)については、平成18年3月期決算時発表の数値と同一です。

第1 四半期財務・業績の概況

当四半期（平成18年4月1日から6月30日までの3ヶ月間）における財務・業績の概況について、主な特徴は以下のとおりです。

（1）経営成績

鉄道事業

- ・東海道新幹線については、本年3月のダイヤ改正において東海道・山陽新幹線直通の「のぞみ」の利便性をさらに高めるとともに、ご利用の集中する時期・時間帯を中心に臨時列車を弾力的に運転しました。
- ・在来線については、313系車両の新製を着実に進めたほか、ICカード乗車券「TOICA（トイカ）」について、本年秋の名古屋地区への導入に向けた準備を進めました。
- ・販売面については、「エクスプレス予約」の会員拡大に努めるとともに、「エクスプレス早特」を積極的に販売するなど、より一層のご利用増に努めたほか、7月22日の東海道・山陽新幹線全線への利用拡大に向け準備を進めました。また、京都をはじめ、奈良・伊勢・山陽・東京など各方面へ向けた観光キャンペーンを展開したほか、50歳以上のお客様を対象とした旅クラブ「JR東海「50+（フィフティ・プラス）」会員に対する魅力ある商品を設定しました。
- ・このような諸施策を実施したうえで、当四半期においても東海道新幹線、在来線とも安全・安定輸送を完遂しました。輸送人キロについては、東海道新幹線は前年同期に比べ0.5%の微増、在来線は前年同期に比べ2.5%の減少となりました。

鉄道以外の事業

- ・ジェイアール名古屋タカシマヤについては、本年3月に「JRセントラルタワーズ最上階の展望台を全面的にリニューアルし、新たに「パノラマサロン」としてオープンしたことなどにより、売上高は前年同期比7.3%増となりました。
- ・新幹線主要駅において、高架橋柱耐震補強にあわせ、構内店舗の再編を進めました。
- ・保有資産の高度利用や有効活用の観点から、社宅跡地開発について、平成19年春開業予定の「NAGOYA CENTRAL GARDEN（ナゴヤ セントラルガーデン）」の建設を着実に推進するとともに、東区明倫町（名古屋）社宅跡地開発についても計画を推進しました。また、「JR東海新横浜駅ビル（仮称）」については、平成20年の開業に向け着実に工事を進めました。

これらの結果、当四半期の営業収益は前年同期比0.4%減の3,618億円となりました。経常利益は、営業費や支払利息の減少などにより、前年同期比7.9%増の858億円、四半期純利益は前年同期比7.7%増の504億円となりました。

（2）長期債務等の状況

当四半期において、社債及び長期借入により1,800億円を調達した一方、長期借入金88億円を返済しました。なお、本年4月5日に26.8万株の自己株式の取得を実施しました。

(3) 要約四半期連結財務諸表

要約四半期連結貸借対照表

(単位 百万円)

区 分	前連結会計年度 (平成18年3月31日現在)	当四半期末 (平成18年6月30日現在)	増 減	(参考) 前年同四半期末 (平成17年6月30日現在)
	金 額	金 額	金 額	金 額
(資 産 の 部)				
流 動 資 産				
1. 現 金 及 び 預 金	70,430	71,488	1,058	155,748
2. 受 取 手 形 及 び 売 掛 金	22,947	18,632	4,315	18,976
3. 未 収 運 賃	16,081	13,182	2,898	21,970
4. そ の 他 の 流 動 資 産	167,338	58,879	108,459	54,158
流 動 資 産 合 計	276,798	162,183	114,614	250,853
固 定 資 産				
1. 有 形 固 定 資 産	4,765,973	4,732,305	33,667	4,853,858
2. 無 形 固 定 資 産	14,308	13,355	952	16,195
3. 投 資 そ の 他 の 資 産	252,768	248,365	4,402	222,122
固 定 資 産 合 計	5,033,050	4,994,026	39,023	5,092,175
資 産 合 計	5,309,848	5,156,210	153,638	5,343,029
(負 債 の 部)				
流 動 負 債				
1. 支 払 手 形 及 び 買 掛 金	49,790	34,402	15,388	30,917
2. 1 年 内 返 済 長 期 借 入 金	116,892	117,168	276	97,732
3. 1 年 内 に 支 払 う 鉄 道 施 設 購 入 長 期 未 払 金	186,336	186,336	-	199,345
4. そ の 他 の 流 動 負 債	313,967	268,280	45,687	258,427
流 動 負 債 合 計	666,988	606,187	60,800	586,422
固 定 負 債				
1. 社 債	415,000	495,000	80,000	355,000
2. 長 期 借 入 金	557,484	648,405	90,921	575,774
3. 鉄 道 施 設 購 入 長 期 未 払 金	2,269,879	2,269,879	-	2,546,763
4. そ の 他 の 固 定 負 債	411,703	417,989	6,285	374,575
固 定 負 債 合 計	3,654,066	3,831,274	177,207	3,852,114
負 債 合 計	4,321,054	4,437,462	116,407	4,438,536

(単位 百万円)

区 分	前連結会計年度	当四半期末	増 減	(参考)
	(平成18年3月31日現在)	(平成18年6月30日現在)		前年同四半期末
	金 額	金 額	金 額	(平成17年6月30日現在)
	金 額	金 額	金 額	金 額
(少数株主持分)				
少数株主持分	15,124	-	-	14,339
(資本の部)				
資 本 金	112,000	-	-	112,000
資 本 剰 余 金	53,500	-	-	53,500
利 益 剰 余 金	783,703	-	-	714,778
その他有価証券評価差額金	25,420	-	-	10,795
自 己 株 式	954	-	-	921
資 本 合 計	973,669	-	-	890,153
負債、少数株主持分 及び資本合計	5,309,848	-	-	5,343,029
(純資産の部)				
株 主 資 本				
1. 資 本 金	-	112,000	-	-
2. 資 本 剰 余 金	-	53,500	-	-
3. 利 益 剰 余 金	-	825,943	-	-
4. 自 己 株 式	-	309,943	-	-
株 主 資 本 合 計	-	681,499	-	-
評 価 ・ 換 算 差 額 等				
1. その他有価証券評価差額金	-	22,388	-	-
評 価 ・ 換 算 差 額 等 合 計	-	22,388	-	-
少 数 株 主 持 分	-	14,859	-	-
純 資 産 合 計	-	718,747	-	-
負 債 及 び 純 資 産 合 計	-	5,156,210	-	-

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しています。

要約四半期連結損益計算書

(単位 百万円)

区 分	前年同四半期 (自平成17年 4月 1日) (至平成17年 6月30日)	当四半期 (自平成18年 4月 1日) (至平成18年 6月30日)	増 減	(参考) 前連結会計年度 (自平成17年 4月 1日) (至平成18年 3月31日)
	金 額	金 額	金 額	金 額
営 業 収 益	363,079	361,800	1,279	1,467,650
営 業 費	242,937	238,578	4,359	1,063,895
1. 運輸業等営業費及び売上原価	201,317	198,630	2,687	904,713
2. 販売費及び一般管理費	41,619	39,948	1,671	159,181
営 業 利 益	120,141	123,221	3,080	403,754
営 業 外 収 益	1,090	1,166	75	6,745
1. 受取利息及び受取配当金	432	495	62	558
2. その他の営業外収益	657	670	12	6,186
営 業 外 費 用	41,658	38,513	3,144	197,037
1. 支 払 利 息	6,414	6,668	254	25,937
2. 鉄道施設購入長期未払金利息	34,778	31,163	3,615	135,154
3. その他の営業外費用	465	681	216	35,945
経 常 利 益	79,574	85,874	6,300	213,462
特 別 利 益	474	541	67	4,158
1. 工事負担金受入額等	54	392	337	3,140
2. その他の特別利益	420	149	270	1,018
特 別 損 失	730	1,157	427	11,059
1. 固定資産圧縮損	50	308	258	3,007
2. その他の特別損失	679	849	169	8,052
税金等調整前四半期(当期)純利益	79,318	85,259	5,940	206,561
法人税、住民税及び事業税	26,195	24,437	1,758	97,809
法人税等調整額	5,899	10,029	4,130	15,312
少数株主利益	430	380	50	1,627
四半期(当期)純利益	46,792	50,411	3,619	122,437

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しています。

要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位 百万円)

区 分	前年同四半期	当四半期	増 減	(参考) 前連結会計年度
	〔自平成17年 4月 1日〕 〔至平成17年 6月30日〕	〔自平成18年 4月 1日〕 〔至平成18年 6月30日〕		〔自平成17年 4月 1日〕 〔至平成18年 3月31日〕
	金 額	金 額	金 額	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー				
1. 税金等調整前四半期(当期)純利益	79,318	85,259	5,940	206,561
2. 減価償却費	57,466	52,693	4,773	234,854
3. 受取利息及び受取配当金	432	495	62	558
4. 支払利息	41,193	37,831	3,361	161,091
5. 売上債権の減少額(は増加額)	4,670	7,212	11,882	2,758
6. 仕入債務の増加額(は減少額)	13,165	15,388	2,223	5,708
7. 未払金の増加額(は減少額)	15,280	20,112	4,831	12,153
8. その他	7,295	4,738	2,557	100,653
小計	151,725	151,738	12	717,705
9. 利息及び配当金の受取額	458	521	62	584
10. 利息の支払額	4,206	3,572	633	163,200
11. 法人税等の支払額	41,756	62,435	20,679	77,186
営業活動によるキャッシュ・フロー	106,221	86,251	19,970	477,901
投資活動によるキャッシュ・フロー				
1. 有形・無形固定資産の取得による支出	37,405	47,828	10,422	128,096
2. その他(純額)	3,022	4,726	1,703	8,455
投資活動によるキャッシュ・フロー	34,382	43,102	8,719	119,641
財務活動によるキャッシュ・フロー				
1. 社債発行・長期借入による収入	20,000	180,000	160,000	170,000
2. 長期債務の返済による支出	8,999	8,802	197	388,023
3. 自己株式の取得による支出	-	308,988	308,988	-
4. その他(純額)	3,675	4,775	1,100	46,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	7,325	142,565	149,890	264,023
現金及び現金同等物の増加額(は減少額)	79,164	99,416	178,580	94,236
現金及び現金同等物の期首残高	78,486	172,723	94,236	78,486
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	157,650	73,307	84,343	172,723

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しています。

セグメント情報

事業の種類別セグメント情報

前年同四半期（自 平成17年4月1日 至 平成17年6月30日）

（単位 百万円）

	運輸業	流通業	不動産業	その他の 事業	計	消 去 又は全社	連 結
売 上 高							
(1) 外部顧客に対する売上高	294,839	45,114	9,257	13,868	363,079	-	363,079
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,909	1,677	4,836	10,959	20,382	(20,382)	-
計	297,748	46,791	14,093	24,827	383,462	(20,382)	363,079
営 業 費 用	183,682	44,893	10,460	24,587	263,623	(20,685)	242,937
営 業 利 益	114,066	1,898	3,633	240	119,838	303	120,141

当四半期（自 平成18年4月1日 至 平成18年6月30日）

（単位 百万円）

	運輸業	流通業	不動産業	その他の 事業	計	消 去 又は全社	連 結
売 上 高							
(1) 外部顧客に対する売上高	294,435	45,563	9,348	12,452	361,800	-	361,800
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,870	3,231	4,870	12,362	23,334	(23,334)	-
計	297,305	48,794	14,219	24,814	385,134	(23,334)	361,800
営 業 費 用	179,508	46,887	10,575	25,032	262,003	(23,425)	238,578
営業利益又は営業損失()	117,797	1,906	3,644	217	123,130	91	123,221

（参考）前連結会計年度（自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日）

（単位 百万円）

	運輸業	流通業	不動産業	その他の 事業	計	消 去 又は全社	連 結
売 上 高							
(1) 外部顧客に対する売上高	1,187,944	183,103	38,046	58,556	1,467,650	-	1,467,650
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	11,857	7,603	20,186	86,518	126,165	(126,165)	-
計	1,199,802	190,706	58,232	145,074	1,593,815	(126,165)	1,467,650
営 業 費 用	819,819	183,197	45,766	141,117	1,189,900	(126,005)	1,063,895
営 業 利 益	379,983	7,509	12,466	3,956	403,915	(160)	403,754

平成18年4～6月期の業績の概要（連結）

平成18年7月28日
東海旅客鉄道株式会社

1. 経営成績の概要

- ・ 昨年の万博の影響は会期前半において少なかったため、この四半期の営業収益が前年並みとなる一方、営業費用、支払利息は減少し、増益となった。

(1) 営業収益（3,618億円 前年同期比 12億円、0.4%減）

- ・ 東海道新幹線については、本年3月のダイヤ改正において東海道・山陽新幹線直通「のぞみ」の利便性をさらに高めるとともに、ご利用の集中する時期・時間帯を中心に臨時列車を弾力的に運転した。また、「エクスプレス予約」会員の更なる拡大、京都をはじめとした各方面へ向けた観光キャンペーンなどに取り組んだ。これにより、輸送人キロが前年同期と比べて0.5%増となるとともに、運輸収入も前年並み（0.1%増、1億円増）の2,560億円となった。
- ・ 在来線については、名古屋都市圏の東海道本線等の普通列車のご利用は好調であったが、万博の反動等により、特急列車や中央本線の普通列車のご利用は減少した。これにより、輸送人キロが前年同期と比べて2.5%減少するとともに、運輸収入も4.0%（10億円）減の256億円となった。
- ・ この結果、当社単体の運輸収入は、前年並み（0.3%減、9億円減）の2,817億円となった。
- ・ 鉄道以外の事業についても、ジェイアール名古屋タカシマヤにおいて本年3月に「パノラマサロン」をオープンしたほか、新幹線主要駅において構内店舗の再編を進めた。

(2) 営業利益（1,232億円 前年同期比 +30億円、2.6%増）

- ・ 減価償却費が減少したことなどから、営業費が前年同期と比べて43億円減少。

(3) 経常利益（858億円 前年同期比 +63億円、7.9%増）

- ・ 支払利息が減少したことなどから、営業外損益が前年同期と比べて32億円改善。

(4) 四半期純利益（504億円 前年同期比 +36億円、7.7%増）

2. 平成19年3月期の業績予想

- ・ 7～9月の収入について前年並みを確保することは難しく、中間期、通期ともに、4月に発表した業績予想は変更しない。

〔別紙2〕

要約四半期（個別）貸借対照表

（単位 百万円）

区 分	前事業年度	当四半期末	増 減	（参考） 前年同四半期末
	（平成18年3月31日現在）	（平成18年6月30日現在）		（平成17年6月30日現在）
（資産の部）				
流動資産	243,109	127,835	115,274	218,113
固定資産	4,912,953	4,874,863	38,090	4,961,268
資産合計	5,156,062	5,002,698	153,364	5,179,381
（負債の部）				
流動負債	671,666	610,373	61,293	578,538
固定負債	3,531,139	3,710,168	179,029	3,726,749
負債合計	4,202,805	4,320,541	117,735	4,305,288
（資本の部）				
資本金	112,000	-	-	112,000
資本剰余金	53,500	-	-	53,500
利益剰余金	762,641	-	-	697,917
その他有価証券評価差額金	25,115	-	-	10,675
資本合計	953,256	-	-	874,093
負債及び資本合計	5,156,062	-	-	5,179,381
（純資産の部）				
資本金	-	112,000	-	-
資本剰余金	-	53,500	-	-
利益剰余金	-	803,526	-	-
自己株式	-	308,988	-	-
株主資本合計	-	660,038	-	-
その他有価証券評価差額金	-	22,118	-	-
評価・換算差額等合計	-	22,118	-	-
純資産合計	-	682,156	-	-
負債及び純資産合計	-	5,002,698	-	-

〔別紙3〕

要約四半期（個別）損益計算書

（単位 百万円）

区 分	前年同四半期	当四半期	増 減	(参考) 前事業年度
	(自 平成17年 4月 1日 至 平成17年 6月30日)	(自 平成18年 4月 1日 至 平成18年 6月30日)		(自 平成17年 4月 1日 至 平成18年 3月31日)
営 業 収 益	297,695	297,351	343	1,199,616
営 業 費	182,589	178,465	4,124	815,862
営 業 利 益	115,105	118,885	3,780	383,753
営 業 外 収 益	1,052	976	76	6,155
営 業 外 費 用	41,032	37,949	3,083	194,525
経 常 利 益	75,125	81,912	6,787	195,383
特 別 利 益	422	488	66	3,961
特 別 損 失	475	351	123	7,088
税引前四半期（当期）純利益	75,072	82,049	6,977	192,256
法人税、住民税及び事業税	24,859	23,173	1,685	91,888
法人税等調整額	5,576	9,820	4,243	15,712
四半期（当期）純利益	44,636	49,056	4,419	116,080

平成19年3月期の（個別）業績予想（平成18年4月1日～平成19年3月31日）

	売 上 高	経 常 利 益	当期純利益
中 間 期	584,000 ^{百万円}	128,000 ^{百万円}	77,000 ^{百万円}
通 期	1,176,000	184,000	111,000

（参考）1株当たり予想当期純利益（通期） 56,119円02銭

（注）実際の業績は今後の経済情勢等によって業績予想と異なる場合があります。なお、上記（平成19年3月期の（個別）業績予想）については、平成18年3月期決算時発表の数値と同一です。

〔別紙4〕

旅客輸送人キロおよび旅客運輸収入の比較

(単位 百万人キロ、億円)

			平成17年 4～6月累計	平成18年 4～6月累計	前期比(%)
旅客 輸 送 人 キ ロ	新 幹 線	定 期	3 1 1	3 2 6	1 0 4.7
		定期外	1 0, 6 3 9	1 0, 6 7 5	1 0 0.3
		合 計	1 0, 9 5 0	1 1, 0 0 1	1 0 0.5
	在 来 線	定 期	1, 4 0 8	1, 4 1 5	1 0 0.5
		定期外	9 7 8	9 1 0	9 3.0
		合 計	2, 3 8 6	2, 3 2 5	9 7.5
	合 計	定 期	1, 7 1 9	1, 7 4 1	1 0 1.3
		定期外	1 1, 6 1 7	1 1, 5 8 5	9 9.7
		合 計	1 3, 3 3 5	1 3, 3 2 7	9 9.9
旅客 運 輸 収 入	旅 客 線	新 定 期	3 6	3 8	1 0 4.1
		定期外	2, 5 2 2	2, 5 2 2	1 0 0.0
		合 計	2, 5 5 8	2, 5 6 0	1 0 0.1
	運 賃 ・ 料 金	在 定 期	8 4	8 5	1 0 0.6
		定期外	1 8 2	1 7 1	9 3.9
		合 計	2 6 7	2 5 6	9 6.0
	計	定 期	1 2 1	1 2 3	1 0 1.7
		定期外	2, 7 0 4	2, 6 9 3	9 9.6
		合 計	2, 8 2 6	2, 8 1 7	9 9.7
	小荷物運賃・料金		0	0	-
	合計		2, 8 2 6	2, 8 1 7	9 9.7

- (注) 1. 当社単体に係る旅客輸送人キロおよび旅客運輸収入を記載
2. 旅客輸送人キロは単位未満端数四捨五入
3. 旅客運輸収入は単位未満端数切捨